

今号の特集

- ▷ビール類・RTD特集 ⑥～⑦面
- ▷パスタ・パスタソース特集 ⑧～⑨面
- ▷オリーブオイル特集 ⑩面
- ▷デザート特集 ⑪面

中部飲食料新聞社ホームページ
<http://chuin.net/> 【業界情報発信中】



第3578号
発行所
中部飲食料新聞社
名古屋市中村区名駅5-18-9
電話 (052)571-7116 代表
FAX (052)571-7118
東京局
東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電話 (03)5614-7531
FAX (03)5614-7532

大正から
中部飲食料新聞
食を伝えて100有余年

三林憲忠氏表彰受章式



「手応えある提案、働きをしたい」
ヤマモリの三林憲忠氏、表取締役会長が、令和8年三重県「県民功労者表彰」の商工業功労者受章した(既報)。4月14日に三重県庁で表彰式があり、一見勝之県知事から受章者へ表彰状と功労章が手渡された。なお、表彰は三重県表彰規則に基づき県の各界で県民の模範、かつ県勢の進展への寄与に対し贈られる。
三林氏の功労実績は、県中小企業団体中央会会長を20年から務め、コロナ禍や物価高騰の状況下で中小企業の支援に尽力した(既報)。4月14日に三重県庁で表彰式があり、一見勝之県知事から受章者へ表彰状と功労章が手渡された。なお、表彰は三重県表彰規則に基づき県の各界で県民の模範、かつ県勢の進展への寄与に対し贈られる。
三林氏の功労実績は、県中小企業団体中央会会長を20年から務め、コロナ禍や物価高騰の状況下で中小企業の支援に尽力した(既報)。4月14日に三重県庁で表彰式があり、一見勝之県知事から受章者へ表彰状と功労章が手渡された。なお、表彰は三重県表彰規則に基づき県の各界で県民の模範、かつ県勢の進展への寄与に対し贈られる。

ヤマモリは5月9、10日に東京で行われた「第26回タイフェスティバル東京」に出展したほか、5月16、17日の名古屋、5月30、31日の大阪及び福岡でのタイフェスティバルにも出展する。例年30万人以上の来場者を集める東京のタイフェスティバルでは今回も好評となる同社タイフード商品の販売に加え、グリーンカレーもしくはマッパムカレーも計画する。
ツァマンカレー購入者もしくは千円以上の購入者を対象に、好きなカレー1ヶ月分(1種類30個)が当たる「ヤマモリ・タイフードガチャ」、タイカレーで使用する「ハーブスパイスの展示&体験」、同社の多彩なタイフードが楽しめるお得な「タイフードセット」(タイカレーセット、タイカレー・ナンプレート、タイカレー・ナンプレートなど)のタイ限定セット商品の販売を実施する。またタイフードガチャやハーブ展示は名古屋でも計画する。

イオン
イオンリテール中部カンパニーは、愛知県産品を紹介する「いいともあいちフェア」を4月17、20日にイオンモール熱田及びイオンスタイル熱田で開催し盛況となった。なお、今回は月曜日が20日であり通常の催事と比べ1日延長している。

大塚製薬「ポカリスエット」カラダのなつじたくを体験
大塚製薬は、今年より暑いことが予想される今年の夏に備え、熱中症対策の重要性が高まる4、6月頃までの期間に暑さを慣らす「暑順化」を、より分かりやすく「カラダのなつじたく」として定義。さらなる認知拡大や生活のなかで実践してもらうよう努めている。昨年、猛暑の長期化など熱中症の救急搬送者数が過去最多の10万人を超え、熱中症対策や正しい水分補給などの認知や実践は社会的な関心事となる。同社では熱中症対策の1つとして、暑さが本格化する前から暑さに慣らす、汗を上手にかくカラダづくりとする「暑順化」の実践を呼び掛ける。早い時期から継続的に運動や入浴などを続けるように、汗を上手にかけるように、さらには前後のこまめな効果的な水分・電解質の補給も重要となる。同社が今年3月に、全

国の3歳〜小学6年生の子どもを持つ保護者2千名に行った調査では、「9割以上の保護者が子どもに熱中症を心配」とあり、「暑順化」を行わせたい」との回答が得られた。4月22日には都内で親子を対象に「ポカリスエット」カラダのなつじたく、親子体験イベントを開催。第12代体操のお兄さんの福尾誠さんや早稲田大学スポーツ科学学術員の細川由梨准教授による、正しい水分・電解質の補給や「カラダのなつじたく」に関するクイズが行われた。

た。酒類は中絶酒造や清州醸造などが出展し試飲を交えてPRした。また、「三英傑WAO」の寄附金贈呈式の様子や知事のコメントのVTR上映、愛知・名古屋の観光PR、地産地消、食育の推進イベント、注目高まるドロインの紹介など多彩な企画を実施し好反応を得た。同社は「これまで『いいともあいちフェア』は秋に開催してアサヒ飲料は「モンスターエナジー」が展開する自販機に「モンスターエナジー」(缶355ml)を供給、今年の夏から順次販売を開始することを発表した。「モンスターエナジー」は、19年から7連連続で日本国内のエネルギードリンク販売数量No.1となる。今回は同ブランドのさらなるプレゼンス向上や市場拡大を目的に展開するもので、購入機会の拡大を通じ、エナジードリンク販売数量No.1の盤石化を図る。

「カラダのなつじたく」を体験する親子の様子。ポカリスエットのボトルも写っている。

製造・卸・小売業界横断型「流通ISAC」設立
アサヒグループジャパン、トライアルホールディングス、三菱食品、NTTは、流通業界初となるサイバーセキュリティ強化に向けた製造・卸・小売業界横断型で情報共有や分析を行う「一般社団法人流通ISAC (Information Formation and Sharing and Analysis Center)」を設立し、4月に設立。今後、流通業界全体でサイバーセキュリティへの集団防衛力向上に取り組み。なお新団体は設立発起人4社のほか、花王、サントリーホールディングス、スギホールディングス、PALTAAC、三井物産流通グループが連携。新たな賛同企業も募る。飲食料品・日用品等を取扱う業界は、製造・卸・小売が緊密に連携する三層構造で成り立っており、個社で発生したサイバーインシデントが広範囲に影響するリスクを有している。また、サイバーインシデントへの対応に高度化・巧妙化するなか、サイバー攻撃がより深刻な被害が発生する事例も顕在化。個別の企業対応では限界があり、業界横断型でのセキュリティ対策や情報の共有・分析が強く求められている。具体的取組みとして①製造・卸・小売の三業態を通じたサイバー攻撃の兆候や被害事例を把握・共有し、業界内での注意喚起及び初動対応の高度化を図る。②脅威情報・インシデント情報の収集・分析・共有。③各種セキュリティガイドラインに対する各社の取組みや知見を持ち寄り、業界

特性を踏まえた実践的な指針として整理・共有する「流通業界のベストプラクティスの整理」③実務担当者及び経営層・管理者のスキル向上を目指す。勉強会、演習等を通じて、現場における対応力の底上げを図る。【情報セキュリティ】に関する啓発・人材育成」を掲げる。個社対応の限界を補完し、各社が信頼関係のもと情報共有や分析、実効性ある対策に取り組む。サイバー攻撃の防御能力向上を図る。今後、目的ごとにワーキンググループを設置し議論を深め、定期的な成果報告を会員企業に対して実施する。会員企業は、

流通業界に特化したセキュリティ対策のナレッジを受領することが可能となるほか、サイバーインシデントによる供給混乱の発生抑制や安定的な商品供給の確保に役立てる。4月6日には設立発起人4社による合同記者発表会を都内で開催。アサヒグループジャパンの濱田賢司社長兼CEOは「社会的な生活インフラでもある流通のサプライチェーンのサイバーインシデント対応は、企業の単独の自衛では限界があり、様々な企業、業界全体での取組みが重要となる」と、トライアルホールディングスの永田洋幸社長は「DXの進展に比例してセキュリティのリス

クは拡大している。小売業の立場からも流通ISACへの期待は大きい」と三菱食品の京谷裕相談役は「食料品・日用品流通業界は極めて広範かつ複雑なサプライチェーンを形成する。単一企業の枠を超えた広域的かつ継続的な対策が急務となる」と述べ、新団体への大きな期待を語った。オブザーバーとして参加する経済産業省は「今回の取組みは、業界全体の重要な活動と認識する。各種取組が小売・流通業界でのレジリエンス強化につながることを期待するとともに、引き続き官民連携を通じてサイバーセキュリティ対策の推進にも努めていく」とコメントした。

「自然のおいしさ!!」
ゴジマ ジヤム
小島食品製造株式会社
本社 東海市名和町一番割中25
電話 (052)603-3511

シマダヤ「流水麺」食べて500円キャンペーン実施
シマダヤは、「流水麺」を食べると500円GET! キャンペーン」を5月1日〜6月30日まで実施している。
「国産そば粉使用そば2人前」「国産小麦粉使用うどん同」「同庭風細うどん同」「同うめん同」「冷やし中華醤油味2食」同「ごまだれ味2食」及び今年新発売の「サラダパスタつるりーに1食」「サラダうどんもつりーに1食」のパッケージにキャンペーン告知のある商品。パッケージに印刷されている点数券を切り取り、4点1口で応募。抽選で1千名にJCBギフトカード五千円分が当たる。
同社は4月15日付で新しい名古屋支店長に平賀公基名古屋支店家庭用営業課長が就任したことを発表した。

小売業界横断型で情報共有や分析を行う「一般社団法人流通ISAC (Information Formation and Sharing and Analysis Center)」を設立し、4月に設立。今後、流通業界全体でサイバーセキュリティへの集団防衛力向上に取り組み。なお新団体は設立発起人4社のほか、花王、サントリーホールディングス、スギホールディングス、PALTAAC、三井物産流通グループが連携。新たな賛同企業も募る。飲食料品・日用品等を取扱う業界は、製造・卸・小売が緊密に連携する三層構造で成り立っており、個社で発生したサイバーインシデントが広範囲に影響するリスクを有している。また、サイバーインシデントへの対応に高度化・巧妙化するなか、サイバー攻撃がより深刻な被害が発生する事例も顕在化。個別の企業対応では限界があり、業界横断型でのセキュリティ対策や情報の共有・分析が強く求められている。具体的取組みとして①製造・卸・小売の三業態を通じたサイバー攻撃の兆候や被害事例を把握・共有し、業界内での注意喚起及び初動対応の高度化を図る。②脅威情報・インシデント情報の収集・分析・共有。③各種セキュリティガイドラインに対する各社の取組みや知見を持ち寄り、業界

サイバーインシデントへの対応に高度化・巧妙化するなか、サイバー攻撃がより深刻な被害が発生する事例も顕在化。個別の企業対応では限界があり、業界横断型でのセキュリティ対策や情報の共有・分析が強く求められている。具体的取組みとして①製造・卸・小売の三業態を通じたサイバー攻撃の兆候や被害事例を把握・共有し、業界内での注意喚起及び初動対応の高度化を図る。②脅威情報・インシデント情報の収集・分析・共有。③各種セキュリティガイドラインに対する各社の取組みや知見を持ち寄り、業界

サイバーインシデントへの対応に高度化・巧妙化するなか、サイバー攻撃がより深刻な被害が発生する事例も顕在化。個別の企業対応では限界があり、業界横断型でのセキュリティ対策や情報の共有・分析が強く求められている。具体的取組みとして①製造・卸・小売の三業態を通じたサイバー攻撃の兆候や被害事例を把握・共有し、業界内での注意喚起及び初動対応の高度化を図る。②脅威情報・インシデント情報の収集・分析・共有。③各種セキュリティガイドラインに対する各社の取組みや知見を持ち寄り、業界

サイバーインシデントへの対応に高度化・巧妙化するなか、サイバー攻撃がより深刻な被害が発生する事例も顕在化。個別の企業対応では限界があり、業界横断型でのセキュリティ対策や情報の共有・分析が強く求められている。具体的取組みとして①製造・卸・小売の三業態を通じたサイバー攻撃の兆候や被害事例を把握・共有し、業界内での注意喚起及び初動対応の高度化を図る。②脅威情報・インシデント情報の収集・分析・共有。③各種セキュリティガイドラインに対する各社の取組みや知見を持ち寄り、業界

サイバーインシデントへの対応に高度化・巧妙化するなか、サイバー攻撃がより深刻な被害が発生する事例も顕在化。個別の企業対応では限界があり、業界横断型でのセキュリティ対策や情報の共有・分析が強く求められている。具体的取組みとして①製造・卸・小売の三業態を通じたサイバー攻撃の兆候や被害事例を把握・共有し、業界内での注意喚起及び初動対応の高度化を図る。②脅威情報・インシデント情報の収集・分析・共有。③各種セキュリティガイドラインに対する各社の取組みや知見を持ち寄り、業界

サイバーインシデントへの対応に高度化・巧妙化するなか、サイバー攻撃がより深刻な被害が発生する事例も顕在化。個別の企業対応では限界があり、業界横断型でのセキュリティ対策や情報の共有・分析が強く求められている。具体的取組みとして①製造・卸・小売の三業態を通じたサイバー攻撃の兆候や被害事例を把握・共有し、業界内での注意喚起及び初動対応の高度化を図る。②脅威情報・インシデント情報の収集・分析・共有。③各種セキュリティガイドラインに対する各社の取組みや知見を持ち寄り、業界

サイバーインシデントへの対応に高度化・巧妙化するなか、サイバー攻撃がより深刻な被害が発生する事例も顕在化。個別の企業対応では限界があり、業界横断型でのセキュリティ対策や情報の共有・分析が強く求められている。具体的取組みとして①製造・卸・小売の三業態を通じたサイバー攻撃の兆候や被害事例を把握・共有し、業界内での注意喚起及び初動対応の高度化を図る。②脅威情報・インシデント情報の収集・分析・共有。③各種セキュリティガイドラインに対する各社の取組みや知見を持ち寄り、業界

サイバーインシデントへの対応に高度化・巧妙化するなか、サイバー攻撃がより深刻な被害が発生する事例も顕在化。個別の企業対応では限界があり、業界横断型でのセキュリティ対策や情報の共有・分析が強く求められている。具体的取組みとして①製造・卸・小売の三業態を通じたサイバー攻撃の兆候や被害事例を把握・共有し、業界内での注意喚起及び初動対応の高度化を図る。②脅威情報・インシデント情報の収集・分析・共有。③各種セキュリティガイドラインに対する各社の取組みや知見を持ち寄り、業界

サイバーインシデントへの対応に高度化・巧妙化するなか、サイバー攻撃がより深刻な被害が発生する事例も顕在化。個別の企業対応では限界があり、業界横断型でのセキュリティ対策や情報の共有・分析が強く求められている。具体的取組みとして①製造・卸・小売の三業態を通じたサイバー攻撃の兆候や被害事例を把握・共有し、業界内での注意喚起及び初動対応の高度化を図る。②脅威情報・インシデント情報の収集・分析・共有。③各種セキュリティガイドラインに対する各社の取組みや知見を持ち寄り、業界

サイバーインシデントへの対応に高度化・巧妙化するなか、サイバー攻撃がより深刻な被害が発生する事例も顕在化。個別の企業対応では限界があり、業界横断型でのセキュリティ対策や情報の共有・分析が強く求められている。具体的取組みとして①製造・卸・小売の三業態を通じたサイバー攻撃の兆候や被害事例を把握・共有し、業界内での注意喚起及び初動対応の高度化を図る。②脅威情報・インシデント情報の収集・分析・共有。③各種セキュリティガイドラインに対する各社の取組みや知見を持ち寄り、業界